



特集

有田川町の未来と夢

有田川町は平成18年に旧吉備町・旧金屋町・旧清水町の合併によって誕生し、平成28年1月1日に10周年を迎えます。これを記念して、8月30日(日)、金屋文化保健センターで有田川町制施行10周年記念式典が開催されました。

記念式典には来賓をはじめ町民約200人が出席、第一部では、中山町長が「暮らして楽しいまちは、みんなが住みたいまちなになる」「自らの地域は自らの手で」をキャッチフレーズに、「町民と協働しながら、安心して暮らせる魅力あふれるまちづくりを進めていく」と式辞を、また中山町議会議長があいさつを述べた後、来賓あいさつでは仁坂県知事、前芝県議会議長、二階衆議院議員、鶴保参議院議員などからお祝いの言葉をいただきました。このほか、近隣市町の町長・議長および地元選出県議会議員ならびに友好都市である大阪府高石市長・議長など多数の方々にお越しいただき、式典に花を添えていただきました。続いて、町政の発展に寄与された方々に表彰状ならびに感謝状が贈呈されました。最後には有田川町のさらなる発展

を願い、林町議会副議長ご発声の元、式典参加者による万歳三唱で締めくくられました。

第二部では、龍谷大学政策学部深尾昌峰准教授による『人口減少時代をチャンスと捉える地域づくりへ』を演題とした記念講演と、深尾先生をコーディネーターとし、有田川町民5人と町長による討論会『有田川町の未来と夢』が行われました。

住民が主体となる HAPPYな町

深尾先生は講演の中で「小さい町でしかなできないことがたくさんあって、そういうものを自分たちで一緒になって楽しみながら生み出していくと、人口減少時代というものは、越えていける。」「(小さい町ほど)小回りがきいて、自分たちが主とし